

エサキアメンボ

カメムシ目アメンボ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

Limnopus esakii (Miyamoto)

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

国内の生息地は局所的であり、全国的に急速に減少している。県内での生息地は1箇所にすぎない。

形態

小型でスマートな種で、体長はオス7.9~8.5mm、メス9.1~10.5mm。体は暗赤褐色~褐色で、体側には銀白色の毛の縦帯がある。触角は褐色で、第4節が最長、黒色であることで他種と区別できる。

国内分布

北海道、本州、四国、九州および対馬に局所的に分布する。

県内分布

河北潟周辺できわめて局所的に生息する。現在の生息地は河北潟干拓地内の水路1箇所である。

生態

ヨシの間や岸辺近くのやや暗い所に生息し、行動範囲は狭く、水面上の昆虫などを捕食する。河北潟の水路では、夕方~夜間に開放水面で確認された。抽水植物の茎に産卵し、幼虫は11月でも確認された。400~500m程の飛翔による移動が推定されている。繁殖場所の岸辺の堆積物中で越冬する。

生息地の条件

平野部の潟湖、池沼、水路の周縁部で、ヨシ、マコモなどの抽水植物群落内の植物の間や岸辺近くに生息する。水位低下によって卵の乾燥による死亡が起きやすいため、水位の安定した場所に生息する。

生存の危機

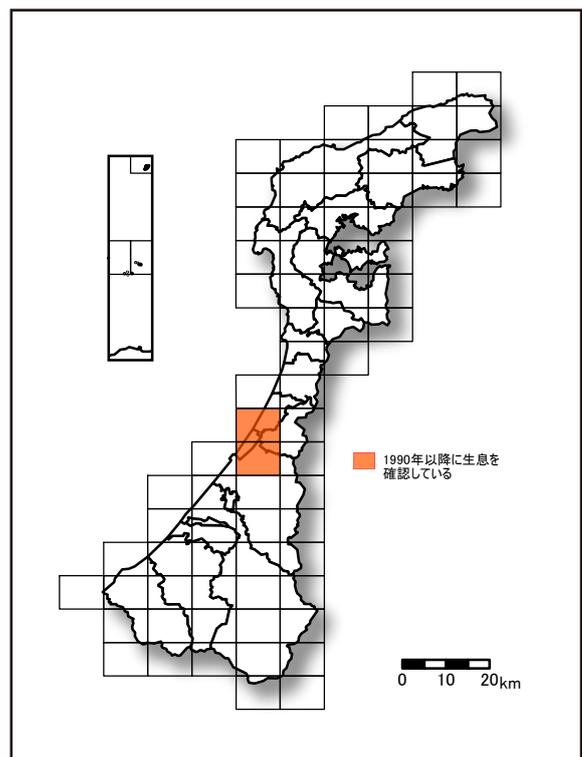
池沼や水路の抽水植物群落の護岸工事による消失、各種排水や農業の流入、ゴミによる水質汚染、外来種の侵入が脅威である。かつての生息地であった津幡町の水路は2001年に環境改変され、絶滅した。現在の生息地では、アメリカザリガニの侵入、水質汚染への対策が必要である。(A)

参考文献

立川周二 1985. エサキアメンボは絶滅するか—その分布と生息地から—. *Rostria*, (37) : 521-525.
村路雅彦・加藤正雄 1990. エサキアメンボ *Limnopus esakii* の生活史に関する知見. *中国昆虫* (4) : 1-5.
中尾史郎・江種伸之 2007. 紀の川流域におけるエサキアメンボ *Limnopus esakii* のメタ個体群構造. *環境情報科学論文集*, (21) : 99-104.
高橋 久 2008. 河北潟干拓地の排水路で確認されたエサキアメンボ. *河北潟総合研究*, 11 : 13-14.



写真提供者: 西原昇吾



県内の分布